

平成 17 年 10 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社 宮
 代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 鈴木栄一
 (JASDAQ・コード番号 9901)
 問 い 合 わ せ 先 専務取締役 根本澄男
 T E L 028 - 634 - 3815

平成 18 年 2 月期中間(連結・単独)業績予想の修正について

平成 17 年 4 月 22 日付当社「決算短信(連結)」及び同日付当社「個別財務諸表の概要」にて発表いたしました平成 18 年 2 月期中間期(平成 17 年 3 月 1 日～平成 17 年 8 月 31 日)の業績予想(連結・単独)を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 18 年 2 月期中間期業績予想の修正(平成 17 年 3 月 1 日～平成 17 年 8 月 31 日)

(1) 連結の業績予想数値の修正

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成 17 年 4 月 22 日)発表	11,300	310	110
今回修正予想(B)	10,399	198	91
増減額(B-A)	901	112	19
増減率	8.0%	36.1%	17.3%
前期実績(平成 17 年 2 月期中間期)	11,152	302	53

(2) 単独の業績予想数値の修正

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成 17 年 4 月 22 日)発表	11,200	300	100
今回修正予想(B)	10,384	169	81
増減額(B-A)	816	131	19
増減率	7.3%	43.7%	19.0%
前期実績(平成 17 年 2 月期中間期)	11,016	294	53

2．修正の理由

売上高につきましては、当社グループの基幹となる外食産業におきまして、狂牛病による米国産牛肉の輸入禁止が依然として続いており、加えて同業者間の熾烈な競争激化により、既存店の売上高が伸び悩み、期初予想を下回る見込みであります。

経常利益および当期純利益につきましては、売上高の減少に伴い、売上総利益が減少したため、期初予想を下回る見込みであります。なお、当期純利益につきましては、特別損失(固定資産除却損)が期初予想より減少したため、経常利益の減少幅ほどではありませんでしたが、期初予想を下回る見込みであります。

3．平成18年2月期通期(連結・単独)業績予想について

通期見通しについては、中間決算短信発表時に行う予定であります。

以 上